資料１

平成30年度第2回
春日井市地域公共交通会議

平成30年11月7日（水）10時00分～

１　公共交通整備について

第2回地域公共交通会議　公共交通整備について

前回会議のおさらい

1.地域公共交通会議について
・住民、交通事業者、行政等それぞれの立場からの意見を尊重する場
・法定のものか⇒資料2で説明

2.市の公共交通整備について
3.シティバスの見直しについて
・シティバスだけでなく、市全体の公共交通を幅広く検討
・都市計画マスタープランや立地適正化計画（まちづくり）との整合

第2回地域公共交通会議　公共交通整備について

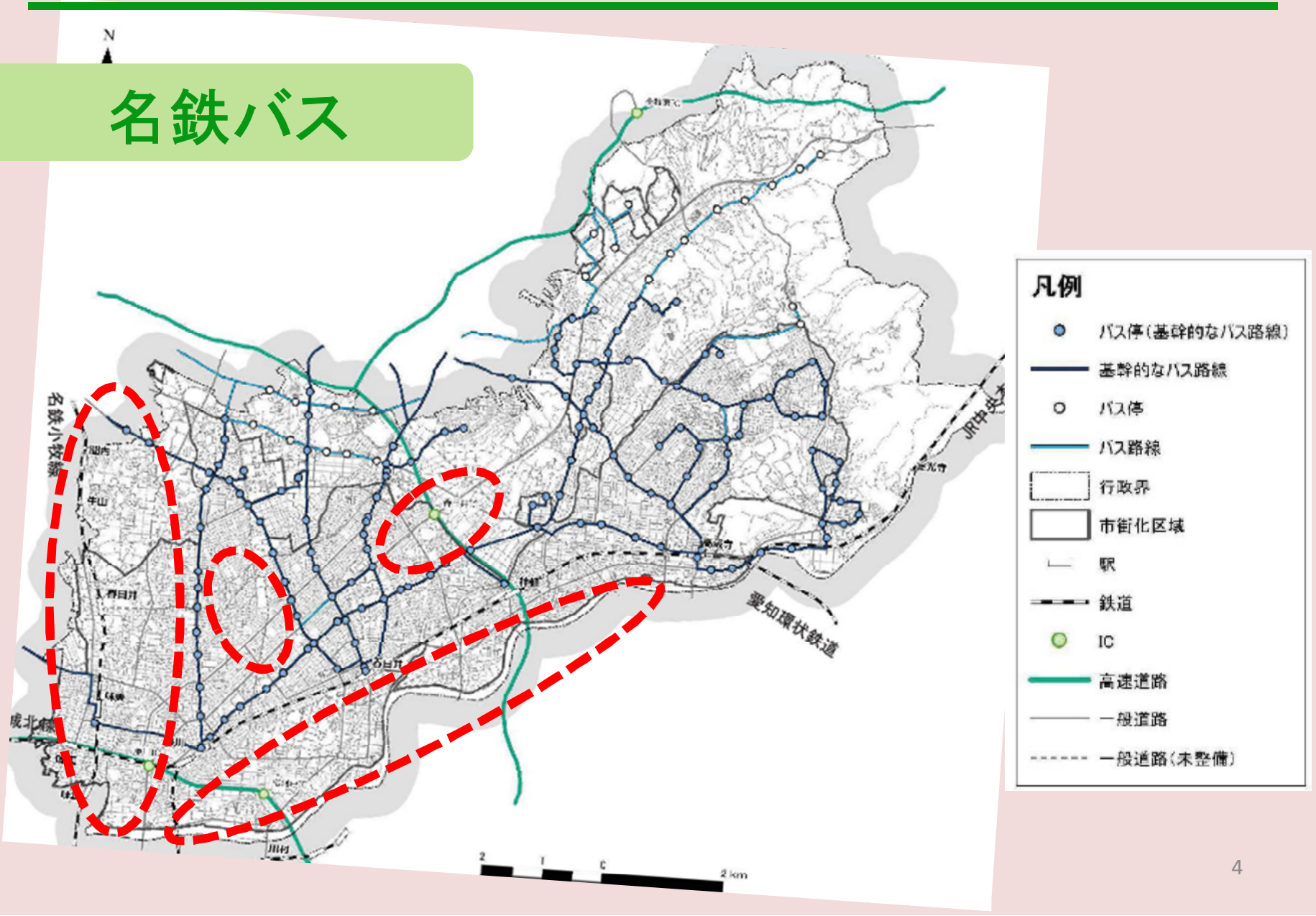
現在の検討状況について

1.市全体の交通ネットワーク整備を検討中
- 福祉、産業、ICT、ニュータウン関連部局との庁内調整会議
（他自治体の事例調査）
- バス、タクシー事業者との調整

2.シティバスの課題抽出⇒契約更新に向け検討中
- （課題）運転手不足、狭隘道路、長距離運行、
多様化したニーズへの対応

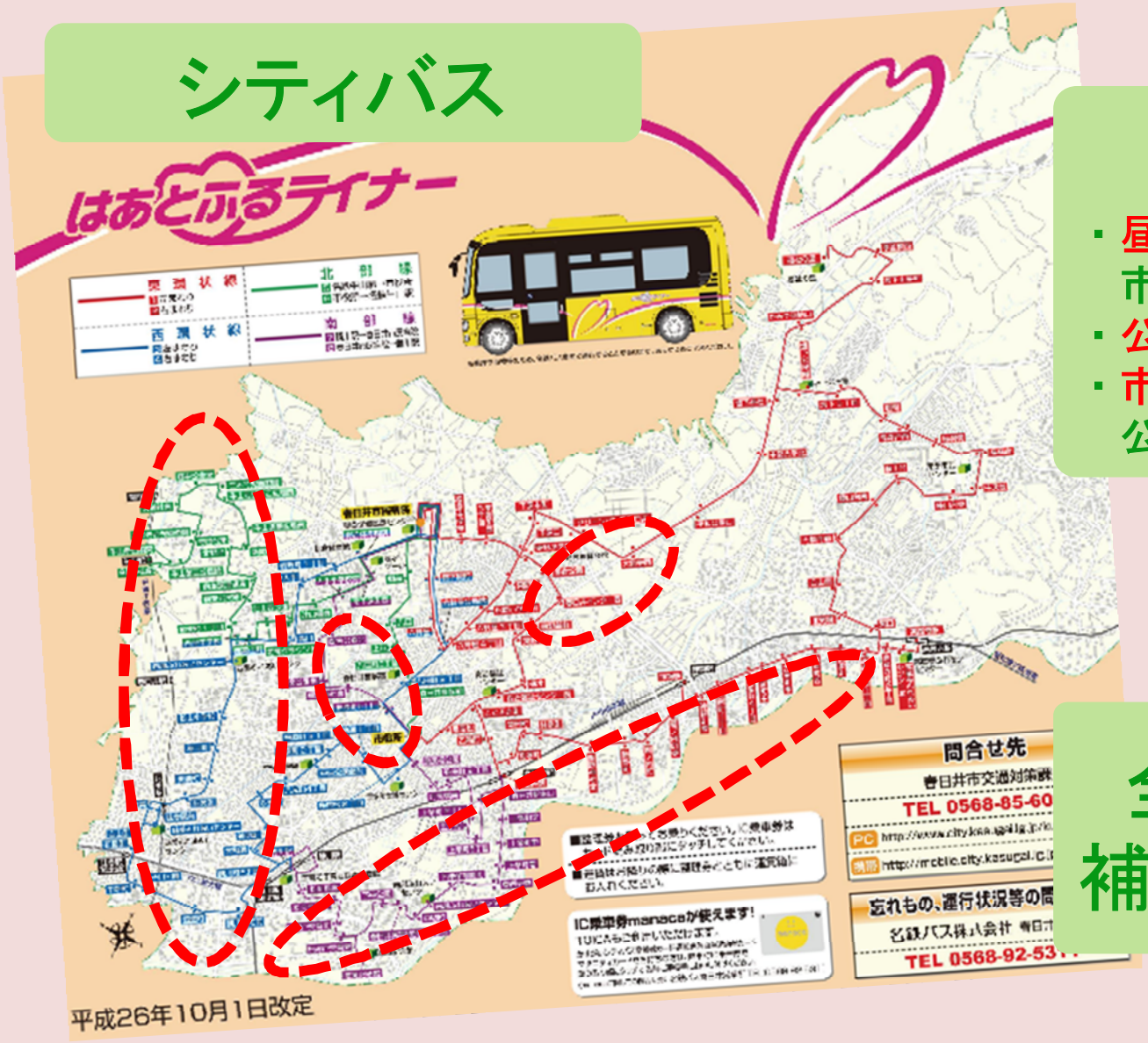
第2回地域公共交通会議　公共交通整備について

名鉄バス



第2回地域公共交通会議　公共交通整備について

シティバス



シティバスの目的

- 昼間帯における高齢者の市内の移動手段の提供
- 公共交通空白地域の解消
- 市民病院や市役所など公共施設への接続

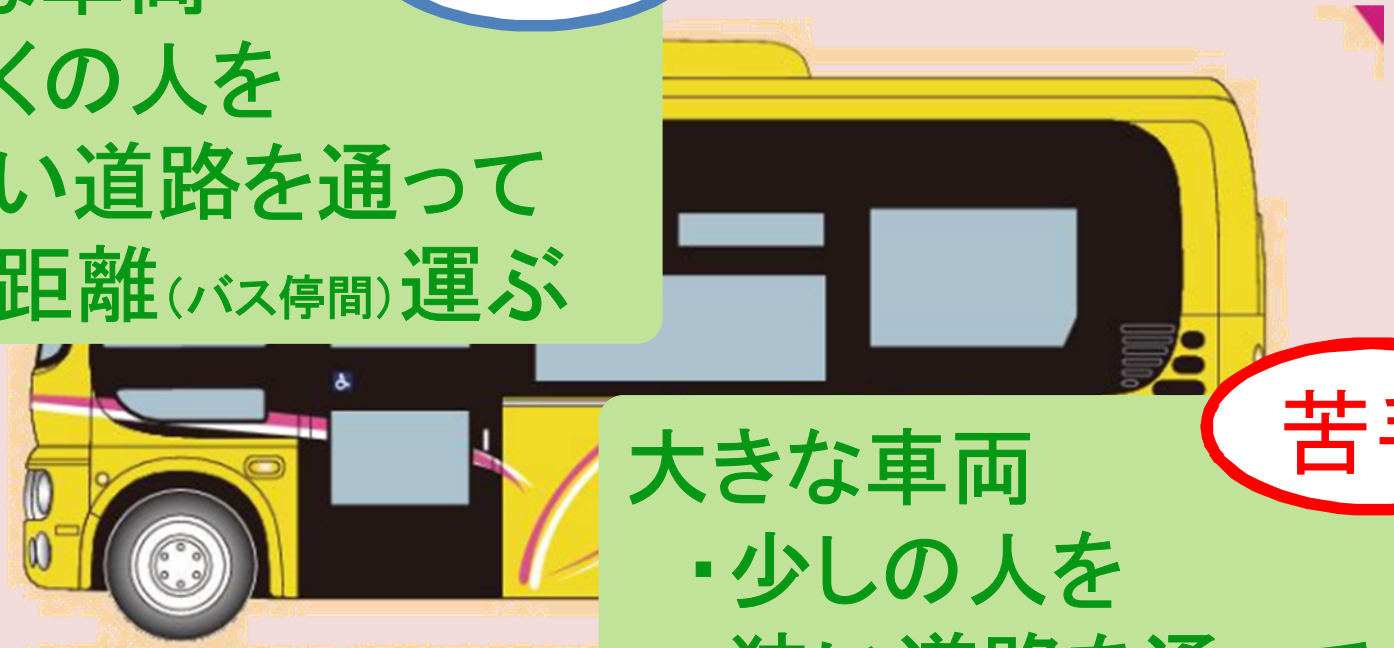
全てをバスで補完しようとした

第2回地域公共交通会議　公共交通整備について

「バス」という乗物の特徴

得意

大きな車両
- 多くの人を
- 太い道路を通って
- 中距離（バス停間）運ぶ



※修理や点検等のため、名鉄バス車両で運

苦手

大きな車両
- 少しの人を
- 狭い道路を通って
- 短距離（目的地まで）運ぶ

第2回地域公共交通会議　公共交通整備について

シティバスの評価

評価

・市民病院、市役所まで乗継なく運ぶ。
・安価な一律料金で、比較的遠方まで運ぶ。
・乗り方が簡単で、乗降客数増加：32万人/年

批判

・路線が長く、渋滞の影響を受けやすい。
・バス停から遠い住民は、乗るのが大変。
・狭い道路や長距離で、運転手負担が大きい。

第2回地域公共交通会議　公共交通整備について

他市の事例：多治見市 ①地域あいのりタクシー

主体：区や町内会
料金：乗車は300円,400円/1人（メーター残額を市と地域で折半）
運行時間、のりば、行き先：地域でルール化
乗り物：セダン型タクシー（タクシー事業者が運行）
運行エリア：隣の小学校区まで
利用者：区会費を納入している方
運行方法：電話予約

第2回地域公共交通会議　公共交通整備について

他市の事例：多治見市 ②200円バス

主体：東濃鉄道（委託費として市から年間約1000万円支払い）
料金：200円
運行時間：平日の昼間（10～16時）
乗り物：路線バス
運行形態：定期路線運行
利用者：市内外問わず誰でも利用可能
利用条件：市内を起終点とする路線